

手のひらの自然

小倉百人一首 京菓子展

2017

嵐吹く三室の

山のもみぢ葉は

竜田の川の

錦なりけり

歌：能因法師

小倉百人一首は平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて活躍した公家・藤原定家が選んだとされる百人の歌人による和歌です。弘道館が創設された江戸時代には絵入りかるたとして庶民に広まりました。茶席において、“京菓子”という小さな世界でテーマや情景を表現する際も、和歌は大きな役割を果たして来ました。数ある伝統文化の中でも特に歴史が深く、古くから教養として人々に浸透してきた“和歌”の世界について改めて考えていただく機会になればと思います。

会期

2017年10月21日(土)～11月5日(日)

本会場

有斐齋弘道館 (京都市上京区元土御門町 524-1)
時間：午前10時～午後5時 ※最終入館は午後4時半
入館料：500円 呈茶：1,000円

特別会場

重要文化財 旧三井家下鴨別邸 (京都市左京区下鴨宮河町 58-2)
時間：午前9時～午後5時 ※最終入館は午後4時半
料金：無料 (ただし、旧三井家下鴨別邸への入場料が別途必要)
呈茶：1,000円 ※大人 410円 中学生 300円 小学生 200円

※両会場の呈茶では、選ばれた京菓子作品と抹茶をお召し上がりいただけます。

特別茶会

旧三井家下鴨別邸 茶室

10月27日(金) 28日(土)

10:00 / 10:45 / 11:30 / 13:00 / 13:45 / 14:30

各時間に特別茶会を実施いたします。

参加費：2,000円 ※旧三井家下鴨別邸への入場料が別途必要

申込み先：075-441-6662 (有斐齋弘道館)

kyogashi@kodo-kan.com



幾世橋陽子『百花の王』
2016年茶席菓子実作部門大賞作品

手のひらの自然 小倉百人一首 京菓子展 2017



黄慶浩『雪月景色』
2016年京菓子デザイン部門大賞作品

京菓子の新しい世界を 体感してみませんか？

「京菓子」は、朝廷文化である有職や茶道文化の上に成立する世界でも稀にみる芸術的な食べ物です。日本の伝統文化を表す重要なエッセンスがすべて、「匠の技」の結晶である〈50グラムの立体造形〉に込められています。本展覧会は、京都を代表する芸術文化である京菓子を通して江戸時代には絵入りかるたとして広く庶民に親しまれた百人一首や和歌について知っていただくとともに、京菓子についての理解を深めてもらおうとするものです。今回は、「小倉百人一首」をテーマに幅広く公募した作品の中から選りすぐりの作品を展示いたします。新たな京菓子が誕生する、その瞬間を体感できる、他では味わえない「場」となることでしょう。

京菓子職人による 展示作品の解説も

- 「小倉百人一首」をテーマに約40点の京菓子作品を展示いたします。呈茶のために選ばれた作品を、抹茶と共に召し上がっていただけます。(数量限定)
- 期間中、京菓子職人が展示作品のご説明をいたします。
(毎日午後1時30分～午後3時30分、
本会場のみ、
水曜日を除く毎日、
予約不要)



有斐齋 弘道館 ゆうひさいこうどうかん

「弘道館」は江戸中期を代表する儒者・皆川淇園(みながわきえん)が1806年に創立した学問所で、その門弟は3,000人とも言われます。この弘道館址地を現代の学問所として復興しようと文化・企業人が立ち上がり設立したのが公益財団法人有斐齋弘道館です。文化的遺産の保存維持、京菓子や茶道などの日本文化・芸術に込められた知恵や美への精神を学び、また分野を問わず多彩な人々が集まる学問・文化サロンの役割を担っています。



〒602-8006
京都市上京区上長者町通
新町東入ル元土御門町
524-1

TEL/FAX:
075-441-6662

E-mail:
kyogashi@kodo-kan.com

アクセス

- 烏丸通から上長者町通(KBS京都の北東角)を西に入り、一筋目を越えて北側
- 京都ブライトンホテルからホテル正面から南へ、一筋目を東に入る、北側
- 地下鉄「丸太町」駅または「今出川」駅から徒歩8分
- 京都駅からタクシーで15分

